

薔薇(s'est levé)

ピアノ組曲「六花」より

Kouhei IHARA

Rose

s'est levé

Op.24

Notation (奏法に関して)

- ・終始絶え間なく続く16分音符の連続は無限に広がる薔薇の離弁花を表す。
- ・ペダリングは敢えて書かなかった。しかしほとんど踏まない(クーブランの墓のプレリュードを弾くサンソン・フランソワのような)のではなく、むしろたくさんペダルを踏んでも良いので豊かな響きを作曲者は望む。
- ・作曲者は演奏者に薔薇には一体何色の薔薇があるのかを調べることを望む。赤、ピンク、白、黄色、紫、そして青い薔薇も存在する。抽象的な意味合いで黒い薔薇もある。

どの部分も色聴と音視によって様々な色調とニュアンスを持った薔薇が表現されているので、そのような演奏を心掛けて欲しい。

楽曲解説

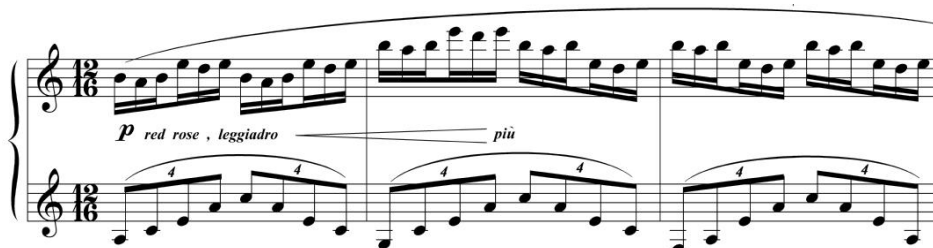
この曲には2つの意味合いがある。1つ目は私の作曲の師である富山優子氏の作曲レッスンでの課題でラヴェルの「クーブランの墓」風の曲を書けという課題があったため。もう1つはほかの「六花」の曲同様に花=女性を表すという組曲「六花」としての意味である。

「ボレロ」や「亡き王女のためのパヴァーヌ」などで知られる偉大なフランスの作曲家モーリス・ラヴェル(1875-1937)は私の作曲の師匠の師匠の・・・と数えていくと5代前に当たる人物で、遠い師に対する尊敬の念を込めてこの曲は作曲された。それ故この曲は彼の「クーブランの墓」のプレリュードに倣って作曲されている。

語法は課題上の制約でラヴェルに倣った部分が多々あるし、またそうでなければ課題の意味がないので、この曲を副題で「ラヴェルの墓」とも題した。

「六花」としての「薔薇」はほかの曲同様に花=女性を表していて、角南映菜という女性に対する私の印象が音化されている。頭脳明晰で段取りが良く、器用で運動神経に優れ、他人の心理を読むことを得意とし、多方面に有能で、それらに立脚した決断力と行動力と物事の3手4手先を読む推理力を持った彼女はまさしく薔薇のような、それも一輪の薔薇ではなく様々な色彩を持ったたくさんの薔薇が咲いている美しい庭を思わせる女性であった。それゆえ「絶え間なく続く16分音符の連続は無限に広がる薔薇の離弁花を表す。」と書いているが、徹頭徹尾ひたすら続くそれらは彼女の優秀さの顕れである。曲よりもモデルの良さを賞賛したい。

形式に関してはラヴェルに習っている。提示された薔薇の主題は作曲者独自の「ドリアン6スケール」で出来ており、この主題が全体において展開される。この薔薇の主題は「花のカatalog」に出てくる薔薇の主題と全く同じで組曲「ジヴェルニーの庭」でもこの薔薇の主題は登場する。



様々な調性による薔薇の色の指定(*white rose, red rose*など)は作曲者の論文「色聴と音視による作曲技法」を参照のこと。

Rose (The grave of Maurice RAVEL)

Like a rose of various colors ♪ =160

Kouhei IHARA (1978)

(ラヴェル風に)

8va-

p red rose , leggiadro *più*

pp *cresc.*

(cresc.) *f* *m.g.*

p *mp*

10 *in outside* *più*

mp con leggerezza

14 *più*

17

yellow rose

mp blue rose

20

23

mp

26

f

1^a

29

p

2^a

8^{va}

32

pp white rose

4

4

4

(8^{va})-----,

System 1, measures 36-38. The right hand features a melodic line with eighth-note patterns. The left hand has a bass line with quarter-note patterns, including triplets. A *mp* dynamic marking is present in measure 37.

System 2, measures 39-41. The right hand has a melodic line with eighth-note patterns. The left hand has a bass line with quarter-note patterns, including triplets. A *mp* dynamic marking is present in measure 39.

System 3, measures 42-44. The right hand has a melodic line with eighth-note patterns. The left hand has a bass line with quarter-note patterns, including triplets. A *p* dynamic marking is present in measure 42.

System 4, measures 45-47. The right hand has a melodic line with eighth-note patterns. The left hand has a bass line with quarter-note patterns, including triplets. A *mp* dynamic marking is present in measure 45.

System 5, measures 48-50. The right hand has a melodic line with eighth-note patterns. The left hand has a bass line with quarter-note patterns, including triplets. A *mp* dynamic marking is present in measure 48.

System 6, measures 51-53. The right hand has a melodic line with eighth-note patterns. The left hand has a bass line with quarter-note patterns, including triplets. A *pp* dynamic marking is present in measure 51, and a *cresc* marking is present in measure 52.

54

(cresc) *mf*

57

mp con leggerezza

60

63

mp

66

mp *più*

69

mf

più mf *f*

72

8^{va}-----

ff

75

(8^{va})-----

p

78

4

4

81

4

4

8^{va}-----

m.g. m.d. simple

accell -

laissez vibrer

4

(accell)

(♩. = 200)

a tempo *f*

87

for HAYUNA Sunami and Maurice RAVEL

連絡先

E_mail : pierottlunaire@uyuu.sakura.ne.jp

URL : <http://uyuu.sakura.ne.jp/>